【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2007-223246(P2007-223246A)
【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2007-034
【出願番号】特願2006-49394(P2006-49394)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/02

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月20日(2007.11.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ハウジング本体の内部に動作の実行を司る機構部、
該機構部の上部に上下２枚のシールドプレートによってシールドされた動作の制御を司る電子基板、
該電子基板の上部にハウジング本体の上部開口を閉塞する上部ハウジングがそれぞれ段積み状態で配置された電子機器において適用されるシールドプレートの固定装置であって、
前記シールドプレートの固定装置は、前記上部ハウジングを前記上部のシールドプレートに直接取り付け、該上部のシールドプレートを前記ハウジング本体に対して直接固定するようにしたことを特徴とするシールドプレートの固定装置。
【請求項２】
請求項１において、前記ハウジング本体の上部の内壁面には前記上部のシールドプレートを支持するための支持段部が複数個設けられており、該支持段部上に直接上部のシールドプレートを設置することによって前記上部のシールドプレートをハウジング本体に対して固定するようにしたことを特徴とするシールドプレートの固定装置。
【請求項３】
請求項１または２において、前記上下２枚のシールドプレートは導電性材料によって形成される連結部材によって連結されていることを特徴とするシールドプレートの固定装置。
【請求項４】
請求項３において、前記上部のシールドプレートには片持ち梁状で撓み変形可能な弾性連結片が設けられており、該弾性連結片を介して前記上下２枚のシールドプレートは連結されていることを特徴とするシールドプレートの固定装置。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項において、前記上部ハウジングは操作パネルであることを特徴とするシールドプレートの固定装置。
【請求項６】
記録装置の外観を構成するハウジング本体と、
該ハウジング本体の内部に設けられ動作の実行を司る機構部と、

該機構部の上部に設けられ上下２枚のシールドプレートによってシールドされた動作の制御を司る電子基板と、
該電子基板の上部に設けられハウジング本体の上部開口を閉塞する上部ハウジングとがそれぞれ段積み状態で配置されると共に、
前記上部ハウジングが直接取り付けられる上部のシールドプレートを固定するシールドプレートの固定装置を備えた記録装置であって、
前記シールドプレートの固定装置は請求項１～５のいずれか１項に記載したシールドプレートの固定装置であることを特徴とする記録装置。
【請求項７】
液体噴射装置の外観を構成するハウジング本体と、
該ハウジング本体の内部に設けられ動作の実行を司る機構部と、
該機構部の上部に設けられ上下２枚のシールドプレートによってシールドされた動作の制御を司る電子基板と、
該電子基板の上部に設けられハウジング本体の上部開口を閉塞する上部ハウジングとがそれぞれ段積み状態で配置されると共に、
前記上部ハウジングが直接取り付けられる上部のシールドプレートを固定するシールドプレートの固定装置を備えた液体噴射装置であって、
前記シールドプレートの固定装置は、前記上部ハウジングを前記上部のシールドプレートに直接取り付け、該上部のシールドプレートを前記ハウジング本体に対して直接固定するようにしたことを特徴とする液体噴射装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記課題を解決するために本発明の第１の態様に係るシールドプレートの固定装置は、ハウジング本体の内部に動作の実行を司る機構部、該機構部の上部に上下２枚のシールドプレートによってシールドされた動作の制御を司る電子基板、該電子基板の上部にハウジング本体の上部開口を閉塞する上部ハウジングがそれぞれ段積み状態で配置された電子機器において適用されるシールドプレートの固定装置であって、前記シールドプレートの固定装置は、前記上部ハウジングを前記上部のシールドプレートに直接取り付け、該上部のシールドプレートを前記ハウジング本体に対して直接固定するようにしたことを特徴とするものである。
すなわち、前記上部ハウジングが直接取り付けられる上部のシールドプレートを、前記機構部、下部のシールドプレート及び電子基板を介することなく、ハウジング本体に対して直接固定するようにしたことを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
本発明の第７の態様に係る液体噴射装置は、液体噴射装置の外観を構成するハウジング本体と、該ハウジング本体の内部に設けられ動作の実行を司る機構部と、該機構部の上部に設けられ上下２枚のシールドプレートによってシールドされた動作の制御を司る電子基板と、該電子基板の上部に設けられハウジング本体の上部開口を閉塞する上部ハウジングとがそれぞれ段積み状態で配置されると共に、前記上部ハウジングが直接取り付けられる上部のシールドプレートを固定するシールドプレートの固定装置を備え、前記シールドプレートの固定装置は、前記上部ハウジングを前記上部のシールドプレートに直接取り付け

、該上部のシールドプレートを前記ハウジング本体に対して直接固定するようにしたことを特徴とするものである。

すなわち、前記シールドプレートの固定装置は、前記上部ハウジングが直接取り付けられる上部のシールドプレートを、前記機構部、下部のシールドプレート及び電子基板を介することなく、ハウジング本体に対して直接固定するようにしたことを特徴とするものである。